

# 椎の苗木通信



## 夢・力・花いっぱい

木城町立木城中学校

木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり

TEL 0983-32-2028

(木城町教育大綱の基本理念)

FAX 0983-32-4191

### 租税作文受賞

租税教育の一環として税に関する作文募集で、以下の受賞がありました。

- 宮崎県租税教育推進中央協議会会長賞 銅賞  
3年 出井 いろは さん  
「私と『税』の出会い」
- 西都児湯地区納税貯蓄組合会長賞  
3年 川越 茜未 さん 「税への理解」
- 高鍋税務署長賞  
2年 横田 凜茄 さん 「『税』は助け合い」
- 西都・児湯地区租税教育推進協議会会長賞 銅賞  
1年 飯干 花菜 さん 「私の思う『税』」

### 町民文化祭で合唱を披露

11月3日(木)文化の日に、木城町総合交流センター「リバリス」ホールで、木城町民文化祭生涯学習のつどい大会が開催され、本校3年生が合唱を披露しました。



合唱曲は、文化祭の3年生の課題曲である「結」

でした。3年生51名の歌声がホール内に響き渡り、観衆から大きな拍手をいただきました。

### 社会福祉体験活動

11月15日(火)5・6校時に木城小学校6年生と全校生徒を7グループに編制し、社会福祉体験を実施しました。活動場所は、新納荘、仁の里、椎木児童館、高城児童館、めばえ保育園、どんぐり保育園、はぐはぐなどです。

この日には、木城町の赤十字ボランティアの方々も一緒に参加していただき、環境美化に努めました。参加された方々、施設長の方からの感想として、今年は児童・生徒の皆さんが熱心に活動していただいたおかげで、きれいになりましたとお褒めの言葉をいただきました。



### 礼法指導で礼儀を身に付けました

面接をはじめ、これからの生活に礼の仕方を生かすために、11月18日(金)3・4校時に体育館で3年生が学習しました。当日、指導をしていた

だいたいの、日章学園高等学校の伊比井先生とトータルエステティック科の生徒の皆様です。

礼の仕方には、「会釈礼」「敬愛礼」「尊敬礼」「最敬礼」の4種があること、礼の仕方に角度の違いがあることなどを学びました。



### 作文指導でノウハウを身に付ける

11月24日(木)5・6校時に3年生を対象に作文指導がありました。講師は高鍋高等学校のスーパーティーチャーの三浦 章子先生でした。

指導の中で、作文ができるようになるためには、「はっきり」「すっきり」と書くことが大切で、そのためには、

- #1 「私」は書かない。
- #2 「そして」は控えめ。
- #3 文は短く。
- #4 繰り返さない。
- #5 文末をそろえて。

を踏まえて作文することだそうです。

まずは、100字～150字以内で作文することが重要であるということです。また、「接続詞を適宜使い、文の流れをつくる」「主語と述語をがっちりつなげる」「係る言葉は受ける言葉の近くに」「漢字は適宜使う」ことも必要だということでした。

### 校長 雑感

#### 「必要なのは挫折だ！」

動力や電力の単位をワット(W)といますが、これは英国の発明家ジェームズ・ワット(1736～1819)を記念したものです。



ワットはスコットランドの港町に船大工の子として生まれ、やがて、大学の教育用実験器具の機械技術者になりました。そして、大学で仕事をしながら、数学や物理を勉強しました。

ある日、ニューコメンの蒸気機関の修理を頼まれましたが、修理だけに満足せず、その効率を3倍に改良した画期的な蒸気機関を開発しました。その後も更に改良を重ね、回転運動ができる蒸気機関を作り上げることに成功しました(1783年)。翌年には、蒸気車の特許を取り、その後も多くの発明をしました。生涯で500基以上の蒸気機関を作りましたが、それらは全て産業革命の原動力となったのです。

ワットの残した言葉に次のようなものがあります。『機械技術の分野でいちばん必要なのは挫折である。私はへまな失敗例を集めた書物がほしい。』というものです。

ワットは多くの発明をしましたが、それらは失敗の連続でもありました。挫折も多かったのです。しかし、その挫折をバネにして、成功につなげる、努力と発想の転換がワットにはあったのでしょう。

